

お知らせ

第79回定時社員総会開催報告

会長 森川 宏平

標記第79回定時社員総会は2026年5月25日(月)本会5階会議室において開催され、下記事項が可決されました。

報告事項：

第1号 2025年度(2025年3月1日～2026年2月28日)事業報告の件

第2号 2025年度 名誉会員推薦の件

決議事項：

第1号議案 2025年度(2025年3月1日～2026年2月28日)貸借対照表、正味財産増減計算書、および財産目録の件

第2号議案 理事および監事選任の件

(電磁的方法による議決権行使社員数67名、有効委任状89通、出席社員2名)

当日の報告事項・決議事項については、本会ウェブサイトに掲載いたします。

下記URLからお入りいただけますので、ご覧下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/societyguide/disclose/index.html>

2026年度役員紹介

(2026年5月25日就任時点)

会長(代表理事)

森川 宏平

株式会社レゾナック・ホールディングス 取締役 取締役会議長。1982年3月東京大学工学部合成化学科卒業。同年4月昭和電工株式会社入社。2016年取締役常務執行役員 最高技術責任者(CTO)、17年代表取締役社長 社長執行役員 最高経営責任者(CEO)、23年株式会社レゾナック・ホールディングス 代表取締役会長、25年取締役 取締役会議長。18年～20年石油化学工業協会 会長、20年～22年日本化学工業協会 会長、24年～25年公益社団法人化学工業学会 会長、24年より公益社団法人新化学技術推進協会 会長。専門分野：有機化学。

筆頭副会長(代表理事)

林 高史

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授。1990年3月京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得認定退学。同年4月京都大学工学部合成化学科助手、97年7月九州大学工学部物質科学科助教授、2005年4月大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻教授。18年～20年錯体化学会副会長。19年度より近畿化学協会理事。19年度～20年度日本化学会理事。22年度～24年度JSPS学術システム研究センター専門研究員。2023年度日本化学会近畿支部長。受賞：日本化学会学術賞(2009)、フンボルト賞(2023)、Eraldo Antonini Career Award for Lifetime Achievements in the field of Heme Proteins(2026)。専門：生物無機化学、生体機能関連化学、錯体化学。

常務理事(代表理事)

鈴木 慎一

公益社団法人日本化学会 常務理事。1984年東京農工大学工学研究科繊維高分子工学専攻修士課程修了。同年4月三菱化成(株)(現三菱ケミカル(株))入社。中央研究所 高分子研究室に配属。情報電子材料、デバイスの研究開発に従事。2004年光電材料研究所所長 ディスプレイ部材開発プロジェクトリーダー、07年人事部 採用・人材開発 採用担当グループマネージャ、09年(株)三菱化学科学技術研究センター 取締役 総務部長。13年日本化学会学術情報部(ジャーナル担当) 参与、16年～25年5月事務局長。専門：高分子化学、技術経営。

副会長(業務執行理事)

石井 洋一

中央大学理工学部 教授、同学副学長。1986年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。87年6月東京大学工学部助手、95年4月同学大学院工学系研究科助手(改組)、96年3月同学講師、98年11月同学助教授、2002年4月より中央大学理工学部教授。09年11月～13年10月同学理工学部長、理工学研究科委員長。20年4月～24年5月同学研究開発機構長。24年5月より同学副学長。受賞：有機合成化学協会 第一製薬研究企画賞(1994)。専門：有機金属化学。

副会長(業務執行理事)

岩崎 史哲

株式会社トクヤマ 取締役専務執行役員ライフサイエンス部門長。1986年3月京都大学大学院工学研究科合成化学専攻修士課程卒業。同年4月徳山曹達株式会社(現株式会社トクヤマ)入社。2007年4月機能材料開発グループリーダー、12年4月鹿島工場長、17年4月執行役員研究開発部門長兼つくば研究所長、20年6月取締役常務執行役員研究開発部門長兼つくば研究所長、24年6月取締役専務執行役員研究開発本部部長兼ライフサイエンス部門長、26年4月取締役専務執行役員ライフサイエンス部門長。専門分野：有機合成化学、有機電解合成。

副会長(業務執行理事)

菅 誠治

国立大学法人岡山大学 理事(教学担当)、上席副学長、(兼務)同学学術研究院環境生命自然科学学域 教授。1995年3月名古屋大学博士(理学)。同年3月英国オックスフォード大学博士研究員(日本学術振興会海外特別研究員)。96年9月京都大学大学院工学研究科助手、2003年7月同学助教授。08年より岡山大学大学院自然科学研究科(現：学術研究院環境生命自然科学学域)教授(兼務)、17年～19年同理事(財務・施設担当)・副学長、19年～21年同学副学長(理工改革担当)、21年～23年同学工学部長、23年より同学理事(教学担当)・上席副学長。受賞：有機合成化学奨励賞(2003)、BCSJ賞(2005)、有機電子移動化学学術賞(2023)。専門分野：有機化学、有機合成化学、有機電子移動化学。

副会長(業務執行理事)

鳳城 延佳

出光興産株式会社 生産技術センター長。1993年東京理科大学理工学部工業化学科卒業。同年4月出光興産株式会社入社、2018年4月経営企画部統括準備室長、同年8月一橋大学大学院経営管理研究科国際企業戦略専攻修了(MBA)、21年4月北海道製油所副所長、24年6月より生産技術センター長、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会理事。25年5月より公益社団法人石油学会理事。専門：化学プロセス工学、経営学。

副会長 (業務執行理事)

和田 健彦

東北大学未来科学技術共同研究センター・未来型医療創成センター 特任教授。1989年大阪大学大学院工学研究科博士課程修了，工学博士。同年4月大阪大学工学部助手，95年7月同工学部助教授，2007年6月～26年3月東北大学多元物質科学研究所教授，同年4月より現職。12年～16年同学所長補佐。1998年米国コロンビア大学博士研究員，2003年～07年JST さきがけ「合成と制御」研究員（兼任），14年～16年，17年～18年光化学協会理事，16年～19年高分子学会業務執行理事，21年～22年日本化学会東北支部長，22年～25年高分子学会理事・東北支部長，24年より日本核酸化学会会長。受賞：高分子研究奨励金(1994)，生体機能関連化学シンポジウム講演賞(2001)，光化学協会賞(2010)，高分子科学功績賞(2026)など。専門分野：生体機能関連化学，高分子化学，有機光化学。

跡部 真人

横浜国立大学大学院工学研究院 副研究院長 教授。1996年9月東京工業大学大学院総合理工学研究科電子化学専攻博士課程中途退学，98年9月同学博士（工学）。96年10月東京工業大学大学院総合理工学研究科助手，2002年7月同学講師，07年3月同学准教授，10年7月横浜国立大学大学院環境情報研究院教授，19年4月より現職。18年～23年JST CREST 研究リームリーダー。23年日本化学会関東支部長。25年～電気化学会副会長。受賞：電気化学会進歩賞・佐野賞(2003)，文部科学大臣表彰 若手科学者賞(2009)，電気化学会フェロー表彰(2024)，日本化学会学術賞(2026)。専門：有機電気化学，有機電解合成。

池田 浩

大阪公立大学 教授。1990年東北大学理学研究科博士課程修了，理学博士。90年同教養部・理学部（研究科）助手，2006年大阪府立大学研究科助（准）教授，11年同教授，22年より現職。07年より有機合成化学協会代議員・理事・関西支部長，09年より有機電子移動化学研究会（常任）理事，10年～23年度光化学協会（常任）理事・会長，12年より有機π電子系学会幹事，12年より Elsevier 誌副編集長等，14年より基礎有機化学会（常任）理事。受賞：光化学協会賞(2010)，有機合成化学協会関西支部賞(2010)，有機電子移動化学学術賞(2020)，有機π電子系学会賞(2025)。専門分野：有機化学，光化学，電子移動化学。

植村 卓史

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻 教授。2002年京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻博士課程修了，博士（工学）。同年同大学院工学研究科合成・生物化学専攻助手，07年同学助教（職名変更），10年同学准教授，18年東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻教授，21年より現職。受賞：日本化学会進歩賞（2010），文部科学大臣表彰若手科学者賞（2013），花王研究奨励賞（2014），日本学術振興会賞（2016），日本化学会学術賞（2021），井上学術賞（2024）。専門分野：高分子化学，錯体化学，ナノ空間材料。

栄長 泰明

慶應義塾大学理工学部 教授。1994年東京大学理学部化学科卒。99年同大学大学院工学系研究科応用化学専攻博士課程修了，博士（工学）。同年4月日本学術振興会特別研究員，同年11月東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻助手。2001年慶應義塾大学理工学部化学科講師，03年同学助教授（07年准教授），11年同学教授。受賞：日本化学会進歩賞(2005)，日本化学会学術賞(2016)，電気化学会学術賞(2022)，文部科学大臣表彰科学技術賞(2023)，向井賞(2025)。専門分野：機能材料化学，電気化学，光化学。

菊地 和也

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 栄誉教授，大阪大学免疫学フロンティア研究センター（兼任）。1994年東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了，博士。94年7月 UCSD 博士研究員，95年7月スクリプス研究所博士研究員，97年1月 東京大学薬学部助手，2000年12月同学助教授，05年7月大阪大学大学院工学研究科教授。25年より World Molecular Imaging Society, Board of trustees。受賞：日本学術振興会賞(2010)，日本化学会学術賞(2012)，科学技術分野の文部科学大臣表彰(2018)。専門：ケミカルバイオロジー。

佐藤 敏文

北海道大学大学院工学研究院応用化学部門 教授。1996年北海道大学大学院工学研究科分子化学専攻博士後期課程修了，博士（工学）。同年10月北海道大学大学院工学研究科助手，2007年4月同学准教授，13年4月同学教授。26年度より高分子学会理事，22年～23年度高分子学会理事・北海道支部長，18年より先端錯体工学研究会 副会長。受賞：高分子学会旭化成賞(2013)，2015年度先端錯体工学研究会賞(2016)，高分子学会賞(2024)，第43回日本化学会学術賞(2025)。専門：高分子合成化学。

茂本 勇

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 技師長。1997年大阪大学大学院理学研究科無機および物理化学専攻前期課程修了。同年4月東レ株式会社入社。2013年大阪大学大学院理学研究科化学専攻後期課程修了，博士（理学）。20年東レ株式会社先端材料研究所研究主幹。23年よりダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンター技師長。13年度日本化学会近畿支部副支部長，24～25年度 HPCI コンソーシアム理事。専門：理論化学，計算化学，マテリアルズ・インフォマティクス。

清水 史彦

三菱ケミカル株式会社 オープンイノベーション部・チーフIPスペシャリスト。1987年3月東京大学合成化学専門課程修了。同年4月旧・三菱化成工業(株)入社。以来，オレフィン重合触媒・機能性ポリオレフィンの開発に従事。2002年2月オランダ Twente 大学にて Ph.D. 取得。14年4月(株)三菱化学科学技術研究センター・合成技術研究所長。以降，有機材料・高分子材料系研究所の所長を歴任。26年4月より現職。受賞：高分子学会フェロー表彰（2021）。専門：オレフィン重合触媒の開発，機能性ポリオレフィンの創出。

須郷 望

株式会社クラレ 研究開発本部長。1992年大阪大学大学院博士前期課程修了。同年4月株式会社クラレ入社，中央研究所第二研究室配属。2005年くらしき研究所研究主管。09年～13年つくば研究センター主管兼 FC プロジェクトリーダー。14年～21年研究開発本部企画管理部長兼アーク事業推進本部企画管理部長。21年～23年研究開発本部くらしき研究センター長。24年より現職。専門分野：高分子材料，有機合成。

鈴木由美子

上智大学理工学部物質生命理工学科 教授。1996年静岡県立大学大学院薬学研究科博士後期課程修了。97年同学薬学部助手，2008年同学助教，10年同学講師。1999年～2000年米国コロンビア大学化学科博士研究員。12年上智大学理工学部准教授，22年同学教授。16年9月仏カン・ノルマンディー大学客員教授。14年～15年度，20年～21年度日本化学会関東支部幹事，23年～24年度日本化学会代表正会員。受賞：日本薬学会東海支部学術奨励賞(2007)，第6回資生堂女性研究者サイエンスグラント(2013)，長瀬研究振興賞(2022)。専門：有機化学，創薬化学。

徳永 信

九州大学大学院理学研究院化学部門 教授。1995年9月名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了。同年11月米国ハーバード大学博士研究員，97年4月理化学研究所基礎科学特別研究員，2001年7月北海道大学触媒化学研究センター助教授，06年5月九州大学大学院理学研究院教授，16年～18年度有機合成化学協会理事，23年～26年九州大学シンクロトロン光利用研究センター長。受賞：リバナス社リアルテックファンダ賞（2021，2022）。専門分野：有機化学，固体触媒。

長瀬 忍

花王株式会社 研究開発部門ヘアビューティ研究所 主席研究員。1991年北海道大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。同年花王株式会社入社（基礎科学研究所），96年花王株式会社香粧品研究所，2003～05年ニュージーランド羊毛研究所（WRONZ）出向，05年花王株式会社ヘアケア研究所，18年より現職。受賞：米国化粧品化学者会優秀論文賞(2003)，日本化粧品技術者会誌優秀論文賞(2019)。専門：分析化学，高分子化学，界面化学，生体機能関連化学。

理事
ながつき
永次

ふみ
史

東北大学多元物質科学研究所 教授。1988年九州大学大学院薬学研究所修士課程修了、同年4月城西大学薬学部 助手。89年九州大学大学院薬学部助手、96年12月博士(薬学)九州大学にて取得、2001年11月～02年8月米国 NIH リサーチフェロー。03年8月九州大学大学院薬学研究所 助教授、06年東北大学多元物質科学研究所 教授。2018年度～19年度生体機能関連化学・バイオテクノロジーディビジョン主査、2023年度～24年度生体機能関連化学部会長。受賞：有機合成化学協会企画賞(1998)、日本薬学会薬学研究ビジョン部会賞(2007)。専門分野：ケミカルバイオロジー、核酸化学、有機化学。

理事
ひしかわ
菱川

あきよし
明栄

東海国立大学機構名古屋大学物質科学国際研究センター 教授。1994年3月京都大学大学院工学研究科博士課程修了、博士(工学)。同年4月東京大学大学院総合文化研究科助手、98年2月同学大学院理学系研究科講師、99年10月同学大学院理学系研究科助教授、2003年4月分子科学研究所助教授、05年9月科学技術振興機構 さきがけ研究者(兼任～08年3月)、10年4月名古屋大学大学院理学研究科教授、15年4月同学物質科学国際研究センター教授、同学大学院理学研究科教授(兼任)。23年度日本化学会東海支部支部長。受賞：第35回日本化学会学術賞(2018年)。専門：光物理化学。

理事
あきひろ
火原

あきひろ
彰秀

東京科学大学理学院化学系 教授。2003年東京大学博士(工学)。同年東京大学工学系研究科 講師、07年同学生産技術研究所 准教授、13年東京工業大学大学院 准教授、16年東北大学多元物質科学研究所 教授、23年東京工業大学理学院 教授、21～22年度化学とマイクロ・ナノシステム学会会長。受賞：日本分析化学会奨励賞(2008)、化学とマイクロ・ナノシステム学会奨励賞(2014)。専門：分析化学。

理事
まつだ
松田

けんじ
建児

京都大学大学院工学研究科 教授。1994年東京大学大学院理学系研究科化学専攻博士課程中退、97年同学博士(理学)。94年東京大学大学院理学系研究科化学専攻助手、95年九州大学有機化学基礎研究センター助手、98年同学大学院工学研究科物質創理工学専攻助手、2004年同学大学院工学研究科応用化学部門(機能)助教授、08年京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 教授、24年度日本化学会近畿支部長。受賞：日本化学会進歩賞(2004)、野副記念奨励賞(2006)、光化学協会賞(2016)。専門分野：物理有機化学。

理事
みずた
水田

つとむ
勉

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授。1985年広島大学理学部卒業、87年同学理学研究科博士課程前期修了、89年同学理学研究科博士課程後期退学、91年3月同学理学博士。89年10月同学理学部助手、94年4月分子科学研究所助手(流動部門)、96年4月広島大学復職、2002年6月同学理学研究科助教授、11年9月同学教授、20年4月組織再編で現職。専門：錯体化学、有機金属化学。

理事
みやうち
宮内

まさひこ
雅彦

株式会社カネカ Material Solutions New Research Engine 基幹研究員。2005年大阪大学大学院理学研究科博士課程修了。同年カネカ入社。12～14年アメリカ航空宇宙局客員研究員(併任)。14～20年 Kaneka Americas Holding 出向。20年より高分子学会関西支部常任幹事(併任)、25年より一般財団法人高分子研究所理事(併任)。受賞：高分子研究奨励賞(高分子学会、2011)、Polymer Journal 論文賞-日本ゼオン賞(同会、2012)、山崎賞(日本素材物性学会、2014)、論文賞(先端材料技術協会、2016)。専門分野：耐熱性樹脂、複合材料、宇宙環境特性評価。

理事
わたなべ
渡邊

まさる
賢

東北大学大学院工学研究科化学工学専攻 教授。1999年1月東北大学大学院工学研究科化学工学専攻博士過程修了、博士(工学)。2000年4月同学大学院工学研究科化学工学専攻 助手、05年3月～8月文部科学省海外先進研究教育プログラム研究に採用・ドイツ・カールスルーエ研究所勤務、06年10月東北大学大学院工学研究科化学工学専攻准教授、18年5月同学教授。21年～22年度化学工学会超臨界流体部会・部会長、25年～26年度日本化学会東北支部化学教育協議会議長。受賞：化学工学会75周年記念懸賞論文優秀賞(2012)、日本エネルギー学会論文賞(2018)、化学工学論文集優秀論文賞(2019)、Journal of Chemical Engineers, Japan 優秀論文賞(2021)。専門分野：化学工学、超臨界流体工学。

監事(外部監事)
あんべいじ
安平次重治

しげはる
重治

有限会社山口ティー・エル・オー・技術移転コーディネーター。1984年3月広島大学大学院工学研究科博士課程前期修了。同年4月宇部興産(株)医薬業研究部、2010年4月同研究開発本部企画管理部。17年4月(公財)中国地域創造研究センター出向。23年10月より現職。11～16年度日本化学会化学フェスタ実行委員、11～16年度同会春季年会ATP小委員会委員、副委員長、委員長、13～16年度同会吉野彰研究助成委員会委員、同選考小委員会委員長。受賞：日本化学会功労賞(2018)。専門：創薬、薬理、産学連携(医療・バイオ・化学)。

監事
にしきおり
錦織

ひろまさ
広昌

信州大学工学部物質化学科 教授。1999年信州大学大学院工学系研究科博士後期課程修了、博士(工学)。同年10月名古屋大学高温エネルギー変換研究センター講師(研究機関研究員)、2000年10月信州大学工学部助手。06年9月～07年2月ジョージア工科大学客員研究員。07年4月信州大学工学部助教、10年4月同学准教授、15年4月同学教授。24年度日本化学会東海支部長。専門分野：光物理化学。

監事
ふくだ
福田

しん
伸

北海道大学触媒科学研究所 研究推進支援教授。1986年北海道大学大学院工学研究科原子工学専攻博士課程修了。86年同助手。90年日産自動車(株)宇宙航空事業部、92年三井東圧化学(現 三井化学)主任研究員、2017年同研究開発本部長 常務執行役員。23年北海道大学触媒科学研究所。18～19年度日本化学会副会長。受賞：吉町先生記念賞・北大工(1981)、真空技術賞・日本真空協会(1997)。専門：表面化学、材料科学、電子材料、R & D マネジメント。

監事
みうら
三浦

まさひろ
雅博

大阪大学先導的学際研究機構 特任教授。1983年大阪大学大学院工学研究科プロセス工学専攻博士後期課程修了、工学博士。84年12月大阪大学工学部応用化学科助手、2005年大阪大学大学院工学研究科教授、21年4月同学先導的学際研究機構特任教授。2013～14年度日本化学会理事、15年度同会近畿支部長、20～21年度同会副会長。受賞：トムソン・ロイター第3回リサーチフロントアワード(2012)、日本化学会学術賞(2013)、グリーン・サイティナブルケミストリー賞・文部科学大臣賞(2014)、フンボルト賞(2015)、石油学会賞(2016)、日本化学会賞(2019)。専門：有機合成化学。

会員委員会からのお知らせ

【日本化学会への入会勧誘のお願い】

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

【会員訃報のお知らせ：2026/3/16-2026/4/15】

11名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

井口 和男 一戸 良行 潮 真澄 木村 優 鈴木 功* 田村 光彦 塚原 聡 野田 一郎
広田 道夫 深津 誠 松尾 哲男

*同姓同名の会員がいらっしゃいます。

化学だいきクラブ事業醸金者ご芳名

(令和8年4月16日~5月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

〇5,000円まで 山口 有朋

【化学振興】活動醸金者ご芳名

(令和8年4月16日~5月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

〇10,000円 茶谷 直人

〇5,000円まで 井口 一成

【化学と教育】誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第74巻第7号)

ヘッドライン：第32回化学教育フォーラム AIは化学探究活動を変えられるか？

その他に、【実験の広場】、【新・講座】など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

【個人】

1) 日本化学会会員の方で、「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は、5,400円(年額)をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合せフォーム】からお申込み下さい。

【お問合わせフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

①【お問い合わせ内容の種類 - Subjects】：「全般について」を選択

②【お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-subjects】：

【【会誌】会誌の追加購読申込】を選択

③【追加購読誌 - Journal Subscriptions】：「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は、教育会員(年間会費9,000円)として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は、当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>)から行って下さい。

【団体】

学校、図書館、官公庁等、団体として購読することもできます。公共会員(年間9,000円)に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。請求先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

日本化学会総務部会員 G

電話(03)3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: member-support@chemistry.or.jp